



社会福祉の事を
わかりやすく
お話し
いたします。

平成28年度 高知県キャリア教育推進事業

高校生と保護者のための公開講座

9.17_{sat} 10.23_{sun}

会場：高知県立大学 池キャンパスと永国寺キャンパス

高知県立大学→交通アクセスをご覧ください。 <http://www.u-kochi.ac.jp/>

駐車場はございません。公共交通機関等でお越しください。

高知県立大学創基70周年記念事業・社会福祉学部公開講座

9月17日 [土] 福祉でくらしの安心を繋ぐ・支える
生活者の視点からみた老齢年金・障害年金制度の課題



主催／高知県立大学 社会福祉学部 後援／高知県社会福祉協議会、高知県社会福祉士会、高知県精神保健福祉士協会、高知県介護福祉士会（順不同）



高知県立大学 社会福祉学部

高校生と保護者のための 公開講座

参加費無料 講座1、講座2は、それぞれ会場が違いますのでご注意ください。



講座 1

2016年
9月17日[土]

会場:高知県立大学 **永国寺キャンパス**

教育研究棟 1F A101 高知城近郊
〒780-8515 高知県高知市永国寺町2-22

高知県立大学→交通アクセスをご覧ください。http://www.u-kochi.ac.jp/
駐車場はございません。公共交通機関等でお越しください。

10:30-12:00

西内 章 先生(社会福祉学部)と
卒業生のシンポジウム

「域学共生と福祉」

域学共生とは、地域と大学が互いに手を携え、教え合い、学び合い、育ち合いながら、高知県の地域の再生と活性化を実現したいという思いを込めた言葉であり、地「域」と大「学」が「共」に「生」きていくという考えです。

講座1.2の受講申し込み方法

別紙受講申込書に必要事項をご記入の上、高校の先生を通じてお申込みください。
ファックスの場合/Fax.088-847-8672
郵送の場合/高知県立大学 〒781-8515 高知県高知市池2751-1

受講申込書の無い方は、学校名、学年、お名前、希望講座を明記の上、右のQRコードからメールでお申込みください。



※保護者のお申込みは不要です。ご一緒に参加ください。

申し込み締切 講座1/8月31日[水] 必着
講座2/9月30日[金] 必着

講座 2

2016年
10月23日[日]

会場:高知県立大学 **池キャンパス**

本部・健康栄養学部棟 高知医療センター近郊
3F A306 〒781-8515 高知県高知市池2751-1

高知県立大学→交通アクセスをご覧ください。http://www.u-kochi.ac.jp/
駐車場はございません。公共交通機関等でお越しください。

関心のあるA~Dの講座を選択して受講してください。

※B・C・Dは2つ以内で選択

特別講義 11:00-12:00

A 中島 洋 先生(社会福祉学部)
「歴史から福祉・介護を考えるー
ホームヘルプ事業史とその継承」

選択講義 1部/13:00-13:45
2部/14:00-14:45

B 福岡 隆康 先生(社会福祉学部)
「農福連携による地域活性化」

C 橋本 力 先生(社会福祉学部)
「超高齢社会とその支援」

D 河内 康文 先生(社会福祉学部)
「要介護当事者体験から心理的バリアを考える」

※両日とも、入試相談会を予定しています。
10月22日、23日は紅葉祭(大学祭)を、池キャンパスで開催します。

福祉でくらしの安心を 繋ぐ・支える

生活者の視点からみた老齢年金・障害年金制度の課題



2016年 9月17日[土] 13:30~16:30

会場:高知県立大学 永国寺キャンパス

教育研究棟 1F A101 220名
〒780-8515 高知県高知市永国寺町2-22

高知県立大学→交通アクセスをご覧ください。http://www.u-kochi.ac.jp/
駐車場はございません。公共交通機関等でお越しください。

受講料無料、申込み不要



高知県立大学 社会福祉学部 お問い合わせ Tel.088-847-8610

主催/高知県立大学 社会福祉学部 後援/高知県社会福祉協議会、高知県社会福祉士会、高知県精神保健福祉士協会、高知県介護福祉士会(順不同)

●主催者挨拶 13:30~13:40
●基調講演 13:40~14:40

駒村 康平氏
慶応義塾大学 経済学部教授
「社会保障の未来―年金制度の議論を中心に―」

●シンポジウム 15:00~16:30
パネリスト

田中 きよむ氏
高知県立大学 社会福祉学部教授
「生活者の視点からみた、わが国の老齢年金の課題」

青木 聖久氏
日本福祉大学 福祉経営学部教授
「精神・知的・発達障害のある人の暮らしと障害年金
~「精神の障害」の障害年金制度の現状と課題を通して~」

石川 智氏
ファイナンシャル・プランナー FP事務所「オフィス石川」代表
「家計経営からみた年金制度の活用と課題」

司会・コーディネーター/田中きよむ氏
コメントーター/駒村康平氏

少子高齢化が進む中で、私たちは「将来いくら年金を受け取れるか」「保険料の負担はどうか」という共通した関心を持っている。とりわけ、近年の改革における「マクロ経済スライド」「老齢年金支給開始年齢の繰り延べ」「低所得の高齢者・障害者等への福祉的な給付」「老齢年金受給資格の短縮」等がわれわれの暮らしにどのような影響を及ぼすのかを理解し、生活者として主体的に社会保障制度を権利として利用するという視点、および少子高齢化の下での世代間の公平性や持続可能性の視点から、老齢年金制度の現状と課題を考えてみたい。

一方で、障害のある人、とりわけ精神障害や制度の谷間にある障害をもつ人の中には無年金者もあり、障害の受容・診断の問題に加えて制度の理解不足もあり、重要な所得保障である障害年金が十分に活用されていない現状がある。さらに、障害年金の認定(支給・不支給判定)の基準、地域差の問題や、新指針に基づく支給停止・減額問題もある。

年金問題というわれわれの生活にとって切実な問題について、以上の点から多角的に検討し、議論を進めつつ、今後の制度改革の方向を考えていきたい。